

第 2 回

横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会 資料 1

令和 4 年（2022 年）8 月 18 日

6 月 30 日の専門部会で頂いたご意見	ご意見に基づき事務局で検討した内容
アンケートの抽出に関すること	
① 地区毎の高齢者数等の数を考慮したうえで、無作為抽出した方が良い	行政センター所管の 10 圏域ごとの人口構成割合に準じて無作為抽出を行う。
② 年代別配布数をどのように考えているか	人口構成割合で割り出された人数に基づいて算出した世代別の送付数とする ※中間評価までは中学生、高校生世代が人口構成割合に基づくものよりも多い送付数としていた。回収率と関係があると推測するが、根拠が不十分であるため今回は単純に人口構成割合とする。
③ 質問数が多い。他市の質問数も参考にしたらどうか。配布数も妥当なものであるか確認をした方が良い	他市のアンケートの質問数を調査したところ、本市の質問数は比較的多くないことが分かった（横浜市 64 問、藤沢市 90 問、相模原市 62 問に対し、本市は 45 問）。 回答率を上げるためにさらに質問内容と質問数を見直した。配布数についても、予定している 3,400 通は妥当であることを庁内担当課に確認した。文字の大きさやレイアウト等、回収率が上がるようアンケートのデザインを含めた検討を今後進めていきたい。
④ 「乳幼児・小学生アンケート」の保護者の回答結果をきちんと検討して欲しい。	「成人アンケート」質問 6 の内容を変更し、該当する家族構成を聞く質問にしたい。このことにより、家族構成による回答内容の差についても検討できるようにする。 これらの方法によって、子育て世代の意識や意見を抽出しやすくなると考える。
⑤ 「乳幼児・小学生アンケート」を送付した世帯には、「成人アンケート」は送付しない方が良い（無作為抽出という考えに抵触するか確認が必要）	無作為抽出の手法ではなくなることを確認した。同一世帯に 2 通のアンケートが届くのは少数と予測されるので、無作為抽出の手法を優先したい。
アンケート内容に関すること	
① 頻度を問う質問の表現を分かりやすくした方が良い	「月に（ ○ ）回」という具合に実数をいれることも検討したが、週単位や月単位など単位を設定することが難しく、集計も困難になることが予想された。 また、現在の栄養の項目は国民健康栄養調査の質問項目と同じ（表現の変更あり）であるため、項目の変更は行わないこととしたい。

第 2 回

横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会 資料 1

令和 4 年（2022 年）8 月 18 日

② 「中学生・高校生アンケート」では、昼食（給食）の状況を問う質問を入れた方が良い	「昼食（給食）」や「夕食」については、欠食についての評価が難しく、第 4 次食育推進基本計画の中で示されている「朝食を欠食する国民を減らす」ことを目標にしているため「朝食」を調査項目とすることとした。
③ 「成人アンケート」の問 21 は、「デリバリーも含む」という文言が必要であると思う	「デリバリー」という表現を追加する。
④ 「成人アンケート」の問 27-1 に、こどもの 1 日の必要水分量の目安を注意書きに記載した方が回答しやすいように思う	こどもの災害時の水分必要量は、年齢により幅があり参考値の掲載が困難であるため、成人の根拠を示すことにとどめたい。
⑤ 「乳幼児・小学生アンケート」の問 6 は、園や小学校の活動以外での運動について、質問しているように受け取れるので表現を検討して欲しい	この質問は、園や学校の活動以外で「意識して体を動かしているか」を確認する項目であるため、そのことが伝わるような文言にしたい。